

ご参考

「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」の概要は次のとおりです。

①サステナビリティ宣言（基本方針）

～暮らしを支える「安心・快適」、暮らしを彩る「夢・感動」を、未来へ～

私たちは、100年以上積み重ねてきた「まちづくり」・「ひとづくり」を未来へつなぎ、地球環境をはじめとする社会課題の解決に主体的に関わりながら、すべての人々が豊かさ喜びを実感でき、次世代が夢を持って成長できる社会の実現に貢献します。

②サステナブル経営の重要テーマ（マテリアリティ）と取組例

テーマ	取組方針
1 安全・安心の追求  具体的な取組の方向性 事故の撲滅と安全性の更なる向上、防災・減災に向けた取組の推進、災害発生時の適切な対応、安心で快適な施設・サービスの充実など	取組方針 鉄道をはじめ、安全で災害に強いインフラの構築を目指すとともに、誰もが安心して利用できる施設・サービスを日々追求していきます。 取組例 【バリアフリーへの取組】 ・グループの鉄道各社では、全てのお客様が駅や電車を快適にご利用できるよう、ハード・ソフト両面でのバリアフリー化を推し進めている。  「サービス介助士」資格の取得促進
2 豊かなまちづくり  具体的な取組の方向性 良質な住環境の整備、人の交流を生み出す商業・ビジネスエリアの整備・拡大、女性・子育て世代・高齢者・外国人のニーズに応えるサービスの提供、地域コミュニティ等との連携強化など	取組方針 自然や文化と共に、人々がいきいきと集い・働き・住み続けられるまちづくりを進めます。 取組例 【阪急電鉄 西宮北口駅周辺のまちづくり】 ・2008年「阪急西宮ガーデンズ」を開業したほか、周辺に文化・教育施設を誘致し、エリアの価値向上に取り組んでいる。西宮北口は、関西の「住んでみたい街アンケート」において5年連続1位の評価を受けている。  阪急西宮ガーデンズ
3 未来へつながる暮らしの提案  具体的な取組の方向性 自然との調和・地域の活性化・多様な価値観の受け入れ、次世代の育成などにつながる商品・サービスの提案、スポーツやエンタテインメントを通じた文化の創造と普及、ICTイノベーションの促進など	取組方針 未来志向のライフスタイルを提案し、日々の暮らしに快適さと感動を創出します。 取組例 【阪急阪神のあんしんサービス「ミマロメ」】 ・校門に設置したセンサーとICタグが連動して、子ども達の登下校の状況をご家庭等にアプリやメールでお知らせするサービス。この仕組みを活用して、高齢者を含めたまちの見守りサービス「まちなかミマロメ」も展開している。  ランドセルに入れるICタグ
4 一人ひとりの活躍  具体的な取組の方向性 働きがいの向上・労働環境の整備、健康経営やダイバーシティの推進、人権の尊重・ハラスメントの防止、次世代の育成の機会の提供など	取組方針 多様な個性や能力を最大限に発揮できる企業風土を醸成するとともに、広く社会の次世代の育成にも取り組みます。 取組例 【健康宣言に基づきグループを挙げて取り組む健康経営】 ・当社グループとして15社が健康経営優良法人2021の認定を受けている。内訳は、大規模法人部門8社（うち3社はホワイト500）、中小企業法人部門7社（うち1社はホワイト500）。  2021 健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500
5 環境保全の推進  具体的な取組の方向性 温室効果ガスの排出量の削減、省エネの推進、再生可能エネルギーの活用、環境配慮型建物の拡大、廃棄物発生量の抑止・リサイクルの推進など	取組方針 低炭素社会や循環型社会に資する環境保全活動を推進します。 取組例 【再生可能エネルギー（太陽光発電など）の活用】 ・阪神甲子園球場、(阪急) 摂津市駅、(阪神) 大石駅、HEPファイブなどに太陽光発電設備を設置している。  阪神甲子園球場
6 ガバナンスの充実  具体的な取組の方向性 企業統治の実効性・透明性の向上、コンプライアンス・腐敗防止の徹底、気候変動リスクを含めたリスクマネジメントの強化、各ステークホルダーの意見を踏まえた事業遂行など	取組方針 すべてのステークホルダーの期待に応え、誠実で公正なガバナンスを徹底します。 取組例 ・2020年6月に、取締役会の監督機能をより強化し、コーポレートガバナンスのさらなる充実を図ることを目的として、監査等委員会設置会社に移行。当該移行と同時に役員数を11名に減じるとともに、独立社外取締役を5名（うち2名は女性）とし、独立役員割合をさらに高めた。

サステナビリティ宣言の詳細は、当社コーポレートサイトでご紹介しています。

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/sustainability/>